

日本人学校も新学期が始まりました

城北中学校では1学期がスタートしていると思います。こちらは10日に始業式が行われ、11日が入学式でした。日本のように4月に始業式が始まるのは、実は世界的に見て珍しいんですよ。中国の現地校（中国の人が通う学校）は9月が新学期スタートです。中国では、もうすぐ3学期だそうです。

そして、上海日本人学校浦東校は小学部と中学部と一緒に始業式や入学式を行うので、全員が立つ号令は、中学校では「全員起立！」ですが、小学部1年生もいるので、「みなさん、立ちましょう」という号令でした。かわいらしい不思議な感じがしました。

お金について

中国のお金は「元（げん）」という単位です。紙幣は100元から1元まで6種類。貨幣は1元から2分まで5種類が流通しているそうです。写真には、5分と2分がありませんが、私はまだ見たことがありません。

アメリカのお金の単位はドルで、省略記号は「\$」ですが、元の省略記号は「¥」です。日本の円の省略記号「¥」と同じなのです。まぎらわしく、注意しないといけません。ただここは中国なので当然、「元」ということです。

中国の「¥」の表示を見ると日本がなつかしくなります。

ちなみに、1元は16円～17円くらいです。変動相場制なので、日によってお金の価値は変わります。



実は現金は・・・

特に上海では、現金があまり流通していません。スマホ決済が主流です。日本ではテレビでよく「Pay Pay」のCMをやっていますよね（私が日本を出るまでは頻繁にCMをしていました）。「楽天Pay」や「LINE Pay」もあります。あれがスマホ決済です。それでも、日本では現金が主流です。中国では、財布は持ち歩かないそうです。スマホで買い物や食事の全てができるそうです。

先日、中国の事務員さんと一緒に銀行に行き、20枚の100元紙幣を出したところ大笑いされました。中国でこんなに大量の紙幣を持っている人はまずいないそうです。

現金で買い物をすると、店員さんが渡した紙幣をじっくり確認します。現金を受け取ってもらえず、買い物ができなかつたらどうしようとドキドキしますが、現金でもしっかり買い物ができます。